

## 漢語類別語彙の検討

(Examination of the Classification of Chinese Characters on Accentuation)

秋山 英治 (愛媛大学法文学部)  
akiyama.eiji.mk@ehime-u.ac.jp

### 1. はじめに

日本語諸方言アクセントにおいて、金田一(1980)や奥村三雄氏の一連の研究によって、漢語にも和語に準じる類別語彙があることが知られている。しかし、この語彙について検証した研究は、管見の範囲では中井(1997b)がある程度である。そのため、漢語類別語彙が、諸方言間の対応を示すものとして使用できるものであるのか、よくわかっていない。本発表では、漢語類別語彙について現代方言をもとに比較検討した結果を述べる。

### 2. 漢語類別語彙候補語の抽出

漢語類別語彙については、金田一(1980)と奥村氏の一連の研究で、類のたて方、類の所属語などに違いがみられる。金田一(1980)は、1・2拍語の記述しかなく、3拍語はない。また、1拍語では第2類、2拍語では第2・5類を欠く。一方、奥村氏の一連の研究(1955・1961・1963・1964・1974・1981・1990)では、研究によって類語としてあがっている語に違いがあり、また同じ語でも研究によって類の認定が異なるものもある。さらに、奥村(1961)では、2拍第2・3類が区別されず同じ類として記述されており、類の認定が難しいものもある。

そこで、金田一(1980)および奥村氏の一連の研究(1955・1961・1963・1964・1974・1981・1990)より、現代では使用しないと思われるものを除き、どれか1つでも類語としてあがっていれば、それを検討対象語(「候補語」)として抽出した。3拍語については、金田一(1980)に記述がないことから、奥村氏の一連の研究より抽出した。類の認定は、奥村氏の一連の研究にしたがった。金田一(1980)と奥村氏の一連の研究とで類が異なる語は、奥村氏の類を採った。奥村氏の一連の研究のなかで、類が異なる語については、一番新しい研究の類を採った。奥村(1961)で、区別されていない2拍第2・3類については、その後の研究で類が特定された場合はその類を採用し、その後の研究に記述がない場合は暫定的に第2類とした。「鉢(ハチ)」など和語の類別語彙のなかに含まれている語もあるが、金田一(1980)および奥村氏の一連の研究であがっていれば、それも候補語として抽出した。なお、一部の語については、秋永一枝ほか(1998)も参照した。

以上より、抽出した候補語は、合計865語となる。拍数別にみると、1拍語が58語(第1類34語、第3類17語、その他7語)で、第2類を欠く。2拍語は325語(第1類79語、第2類58語、第3類63語、第4類72語、第5類5語、その他48語)で、すべての類に候補語がある。しかし、第5類は5語しかなく、他の類と比べて著しく少ない。3拍語は473語(第1類90語、第4類71語、第5類164語、第6類75語、第7類71語、その他2

語)で、第2・3類を欠く。和語においても、3拍第3類を類としてたてるかどうか、研究者によって意見がわかれるが、それを除くと、和語は1~3拍語すべてに類がたてられているのに対して、漢語は1・3拍語で類を欠いており、和語と同様に扱うことができないことがわかる。以下、紙面の都合上、2・3拍語に限定して述べていく。

### 3. 対象地域

今回対象とした地域は、「中央式」から京都市・高知市・徳島市・今治市の計4地域、「讃岐式」から丸亀市(飯岡)の1地域、鹿児島、共通語である。これらの地域での状況を比較し、類語として妥当かどうかを検証する。「中央式」のうち、京都市のデータは、平山編(1960)と中井(2002)による(前者を京都①、後者を京都②とする)。高知市のデータは中井(1997a)、徳島市のデータは中井(1999)による。今治市のデータは、筆者の調査(老年層1名。秋山(2017)の話者と同じ)による。「讃岐式」の丸亀市のデータは、中井(1998)による。鹿児島のデータは、平山編(1960)による。共通語のデータは、平山編(1960)と金田一監修(2014)による(前者を共通語①、後者を共通語②とする)。各地域の型を示すと、次のようになる。

「中央式」(京都市・高知市・徳島市・今治市) ※京都市では、第4類はH1型となる

2拍語 第1類H0/第2・3類H1/第4類L0/第5類L2

3拍語 第1類H0/第4類H2※/第5類H1/第6類L0/第7類L2

「讃岐式」(丸亀市) ※第5類はH1型も

2拍語 第1・3類H0/第2類H1/第4類L0/第5類L2

3拍語 第1・5類H0※/第4類H1/第6類L0/第7類L2

鹿児島(平安末頃京都で高起始まりの語がA型、低起始まりの語がB型)

2拍語 第1・2類A/第3・4・5類B

3拍語 第1類A/第4・5・6・7類B

共通語 第5類は、現在1型となっている語が多いが、本来の2型として考察する。

2拍語 第1類0/第2・3類2/第4・5類1

3拍語 第1・6類0/第4類3/第5類2※/第7類1

### 4. 新・漢語類別語彙(暫定版)の認定

各地域の比較検討により、「その類の語として認定できる語(類語)」「類語に準じる語(準類語)」、「その類の語として認定できない語(非類語)」「今回の調査では類語かどうか確定できずさらなる調査が必要な語」にわけた。以下では、「類語」「準類語」を示す。また、金田一(1980)・奥村氏の研究であがっている類とは別の類の可能性のある語(分類上は、「非類語」に含む)がある場合は、それも示す。各地域で例外的な型をとる場合、その型のみであれば、( )に地域・型を記し、併用に例外的な型があれば、型の後に「も」を付す。副詞的用法など用法により型が異なる可能性のある語は、※を付す。一部の地域のデータしかない語(全地域の比較ができないため、「準類語」と判断した語)は、■を付す。

## 2 拍語

### 第1類 (候補語 79 語)

類語……<sup>イシヤ</sup>医者(鹿児島 B)・<sup>イス</sup>椅子(高知・徳島 H1)・<sup>ウメ キヤク</sup>梅・客(今治 H1 も)・<sup>キヤク</sup>逆(鹿児島 B)・<sup>キョウ</sup>急・<sup>ゴ マ</sup>胡麻(鹿児島 B)・<sup>サン</sup>三※・<sup>ジャマ</sup>邪魔(鹿児島 B)・<sup>シヨロ</sup>棕櫚(共通語①1 も)・<sup>ジュン</sup>順・<sup>シヨク</sup>食(京都②・今治 H1 も)・<sup>タク</sup>宅(今治 H1)・<sup>テキ</sup>敵(高知 H1)・<sup>テン</sup>点(高知 H1 も, 徳島 H1)・<sup>トク</sup>得(今治 H1 も)・<sup>バン</sup>晩・<sup>フ ジ</sup>無事(京都①L0, 京都②L0)・<sup>ボウ</sup>棒

計 19 語

準類語…<sup>カク</sup>格■(京都②・今治 H1)・<sup>キョク</sup>曲■(丸亀 H1, 共通語①・②1 も)・<sup>ジョウ</sup>情(徳島・今治 H1, 鹿児島 B)・<sup>シヨク</sup>職(京都②H1 も, 東京①2 も)・<sup>セキ</sup>席(共通語①1 も, 共通語②1)・<sup>ソク</sup>俗(今治 H1, 共通語①1 も)・<sup>ゾク</sup>賊(京都①・今治 H1)・<sup>トク</sup>徳(高知・今治 H1)・<sup>ヒツ</sup>櫃(徳島 L0, 今治 H1 も, 鹿児島 B)・<sup>ヒョウ</sup>表(京都②L0 も, 今治・丸亀 H1)・<sup>ヘイ</sup>塀(京都②・今治 H1 も, 徳島 H1, 鹿児島 B)・<sup>ヘン</sup>偏(京都・今治 H1 も, 徳島 H1)・<sup>リク</sup>陸(共通語①・②2 も)・<sup>レイ</sup>礼※(京都②L0 も, 共通語②1 も)・<sup>ロク</sup>碌(今治 H1, 共通語②2 も)

計 15 語

別の類の可能性のある語 (6 語)

第2類の可能性のある語…<sup>キョウ</sup>興・<sup>コツ</sup>骨・<sup>サン</sup>産

第3類の可能性のある語…<sup>サク</sup>作

第4類の可能性のある語…<sup>キョウ</sup>灸・<sup>クン</sup>訓

### 第2類 (候補語 58 語)

類語……<sup>イジ</sup>意地・<sup>シチ</sup>七・<sup>ヨソ</sup>余所(共通語①1 も)

計 3 語

準類語…<sup>ゴザ</sup>御座(鹿児島 B, 東京②1)

計 1 語

別の類の可能性のある語 (10 語)

第3類の可能性のある語…<sup>イチ</sup>一※・<sup>カク</sup>画・<sup>ギリ</sup>義理・<sup>ソン</sup>損・<sup>ダン</sup>檀・<sup>チ</sup>知恵・<sup>ハチ</sup>八※・<sup>ヒヤク</sup>百※・<sup>フ</sup>風呂・<sup>ロク</sup>六※

### 第3類 (候補語 63 語)

類語……<sup>カン</sup>寒・<sup>キク</sup>菊・<sup>サク</sup>柵(共通語①・②1 も)・<sup>サン</sup>棧・<sup>ジク</sup>軸・<sup>シチ</sup>質(徳島 L0)・<sup>シヤク</sup>尺(丸亀 H1 も)・<sup>ジュズ</sup>数珠(高知 L2 も)・<sup>シヨウ</sup>性(京都②H0 も)・<sup>セワ</sup>世話(丸亀 H1 も)・<sup>ダン</sup>段・<sup>デシ</sup>弟子・<sup>ドク</sup>毒・<sup>ニク</sup>肉・<sup>ニド</sup>二度※・<sup>ネツ</sup>熱・<sup>ハチ</sup>鉢・<sup>バチ</sup>罰・<sup>バチ</sup>撥・<sup>フク</sup>便・<sup>フク</sup>服(丸亀 H1)・<sup>フク</sup>福・<sup>フク</sup>副(丸亀 H1)・<sup>マク</sup>幕・<sup>マク</sup>膜・<sup>ミク</sup>脈(今治 H0 も)・<sup>ヤク</sup>約(共通語②0)・<sup>ヨク</sup>欲・<sup>ラク</sup>楽(鹿児島?)・<sup>ロウ</sup>牢・<sup>ロウ</sup>蠟・<sup>ワク</sup>梓

計 32 語

準類語…<sup>ガキ</sup>餓鬼(今治・丸亀 L2)・<sup>キチ</sup>吉(丸亀 H1, 共通語②1 も)・<sup>サク</sup>柵(京都②H0 も, 丸亀 H1 も, 共通語①1, 共通語②1 も)・<sup>シキ</sup>式(丸亀 H1)・<sup>ジツ</sup>実(徳島 L2 も, 丸亀 H1)・<sup>ジュク</sup>塾・<sup>ジュツ</sup>術(丸亀 H1, 共通語①1 も)・<sup>ヨウ</sup>用(丸亀 H1)

計 8 語

### 第4類 (候補語 72 語)

類語……<sup>ウン</sup>運・<sup>カイ</sup>会・<sup>ガイ</sup>害・<sup>キョウ</sup>経・<sup>オウ</sup>王(京都②・今治・丸亀 H1 も)・<sup>オン</sup>恩(今治 H1 も)・<sup>ダイ</sup>芸・<sup>ケン</sup>劍(京都②・丸亀 H1 も)・<sup>ジュウ</sup>十(今治 H1)・<sup>シン</sup>芯・<sup>セン</sup>千(今治 L2)・<sup>ダイ</sup>台・<sup>ダイ</sup>題・<sup>チュウ</sup>中(今治 H1)・<sup>チヨウ</sup>腸(今治 H1 も)・<sup>ドウ</sup>胴・<sup>ドウ</sup>堂(京都②・徳島・今治 H1 も)・<sup>ハン</sup>判(京都②H1 も, 高知 H1)・<sup>バン</sup>番(今治 H1)・<sup>バン</sup>盤(今治 H1 も, 丸亀 H1)・<sup>フン</sup>糞・<sup>ミソ</sup>味噌・<sup>モン</sup>紋・<sup>レイ</sup>例(鹿児島 A)

計 24 語

準類語…<sup>エン</sup>縁※(今治 H1)・<sup>ガン</sup>癌(京都①・高知 H1, 京都②・今治・丸亀 H1 も)・<sup>コウ</sup>香(京都①・徳島・今治 H1, 京都②H1 も)・<sup>シヤク</sup>杓(今治 H1 も, 共通語①2 も)・<sup>セイ</sup>精(高知・今治 H1, 丸亀 H1 も, 鹿児島 A)・<sup>ダイ</sup>代(今治 H1, 東京②0)・<sup>チュウ</sup>宙(今治・丸亀 H1 も, 東

京①・②0も)・町(高知・丸亀 H1, 今治 H1 も)・同(京都②・今治 H1 も, 高知 H1, 鹿児島?)・二個■・念(京都①・今治・H1, 共通語①0も)・盆(鹿児島 A, 共通語①0)・瘍(京都①・高知・今治 H1)・類(京都①H1, 京都②H1 も, 鹿児島 A)・論(高知・徳島 H1, 京都②・丸亀 H1 も) 計 15 語

別の類の可能性のある語 (1 語) 第 3 類の可能性のある語…陣

第 5 類 (候補語 5 語: 雁・犀・皮膚・豹・法螺) ※類語・準類語なし

### 3 拍語

第 1 類 (候補語 90 語)

類語……遠慮(エンリョ)・機嫌(キゲン)・麒麟(キリン)・工夫(クフウ)・故障(コショウ) (高知 H2)・事情(ジジョウ) (丸亀 H1)・時代(ジダイ) (今治 L0 も)・修行(シュウギョウ) (鹿児島 B も)・障子(ショウジ)・女中(ジョチュウ)・他人(タニン)・達摩(ダルマ)・調子(テウシ)・内緒(ナイシヨ)・秘密(ヒミツ) (京都②L0 も)・不思議(フシギ)・葡萄(ブドウ) (鹿児島 B)・魔法(マホウ) (丸亀 H1)・微塵(ミジン)・模様(モヨウ)・油断(ユダツ) (京都②L0 も, 高知 L0)・用事(ヨウジ) (鹿児島 B)・陸地(リクヂ) (丸亀 L0)・理屈(リクツ) 計 24 語

準類語…九年(クネン)■・五年(ゴネン)■ (京都②L2 も)・五杯(ゴハイ)■・五番(ゴバン)■・五枚(ゴマイ)■・詩人(シジン) (京都②H1 も, 高知 L0)・草履(ソウリ) (丸亀 L0, 鹿児島 B)・達者(タクシャ) (今治 L0, 鹿児島 B)・法事(ホウジ) (京都②H2 も, 徳島 H1) 計 9 語

別の類の可能性のある語 (1 語) 第 6 類の可能性のある語…相違

第 4 類 (候補語 71 語)

類語……愛想(アイソウ) (徳島 H0 も)・道具(ドウグ)・二月(ニガツ) (共通語②0 も) 計 3 語  
準類語…脚気(カウケ) (共通語①0)・四角(シカク) (京都①L2, 京都②L2 も)・四月(シガツ) (共通語②0 も)・地獄(ジゴク) (京都②L0 も, 共通語①0)・上手(ジョウズ) (東京①0)・豆腐(トウフ) (京都②L0 も, 共通語①・②0 も)・道理(ドウリ) (徳島 L2, 丸亀 H1)・難儀(ナンギ) (共通語②1 も)・二百(ニヒャク)※・拍子(ヒョウシ) (鹿児島 A, 共通語①・②0 も) 計 10 語

第 5 類 (候補語 164 語)

類語……該当なし 計 0 語  
準類語…五寸(ゴスン)※ (共通語②0 も)・五万(ゴマン)※ (鹿児島 A)・秩序(チツジョ) (丸亀 H1, 共通語①・②1 も)・不孝(フコウ) (京都②L2 も, 丸亀 L2) 計 4 語

別の類の可能性のある語 (8 語)

第 4 類の可能性のある語…苦心(クシン)・砂糖(サトウ)・七分(シチブ)※・世界(セカイ)・二点(ニテン)※・日本(ニホン)・二万(ニマン)※・八位(ハチイ)

第 6 類 (候補語 75 語)

類語……按摩(アンマ) (高知 H0)・硫黄(イコウ)・縁起(エンギ) (高知 H0)・火災(カサイ)・漢字(カンジ)・桔梗(キキョウ) (京都②H0 も)・最初(サイショ)・丈夫(ジョウブ)・真珠(シンジュ) (高知 L2)・掃除(ソウジ)・太鼓(タイコ)・檀那(ダンナ)・茶碗(チャワン)・二階(ニカイ)・二重(ニジュウ)・屏風(ヒョウブ)・楊枝(ヨウジ)・蓮華(レンダ) (京都②H1 も) 計 18 語

準類語…増加(ゾウカ) (京都②H1・L2 も, 共通語①1 も)・題字(ダイジ)■・檀家(ダンカ)■・二乗(ニジュウ)■・柔和(ニユウワ)■・飛脚(ヒキヤク)■・陽気(ヨウキ)■・幼稚(ヨウチ) (共通語①・②1 も) 計 8 語

第 7 類 (候補語 71 語)

類語……昆布(コンブ) (京都②L3 も)・今夜(コンヤ)・最後(サイゴ) (丸亀 H1)・坊主(ボウズ)・名字(ミヨウジ) 計 5 語

準類語…<sup>オウジ</sup>王子■・<sup>キンジョ</sup>近所(高知・丸亀 H0, 京都②H0 も)・<sup>ガンジ</sup>軍事■・<sup>サンリ</sup>三里※(高知 H0 も, 徳島 L0 も)・<sup>センリ</sup>千里※(徳島 L0 も, 丸亀 H1 も)・<sup>モンク</sup>文句(丸亀 H1, 鹿児島 A)・<sup>ヨウイ</sup>用意(京都①L0, 共通語①0) 計 7 語

2 拍第 2 類・3 拍第 5 類については、類語・準類語が少なく、独立した類としてたてることが難しい。これは、中井 (1997b) が指摘するように、漢語の基本型と区別できないことによる。2・3 拍語ともに基本型が出やすい傾向がある上に、2 拍第 2 類は、候補語に 2 拍目に特殊音となる語が多く、共通語においては、特殊音により下げ核が前へずれたのか、もともとの型 (1 型) なのかを判断することが難しい。3 拍第 5 類は、候補語として最多の 164 語があがっていたものの、類語として認定できる語はなく、準類語が 4 語あるだけである。

候補語の段階で 5 語しかなかった 2 拍第 5 類については、類語がなく類をたてることができない。その他、今回の調査では類ができない語が多く残るといった問題があり、暫定版ではあるものの、各地域の比較検討により、上記の新・漢語類別語彙の語を認定した。

## 5. 新・漢語類別語彙 (暫定版) の検証

新・漢語類別語彙 (暫定版) が、諸方言間の対応を示すものとして、また世代間の対応を示すものとして使用できるものかどうかを検証するために、愛媛県東中予地方でもっとも共通語化が進行している松山市方言の若年層 (1 名) をとりあげ、和語との比較をおこなった。具体的には、漢語にも、和語と同様の変化 (共通語化) が起きているのかを確認した。なお、ここでは、別の類の可能性のある語はとりあげず、類語・準類語をとりあげる。

2 拍語では (独立した類として認定の難しい第 2 類、類語のない第 5 類は考察対象から除く)、共通語化により、和語の第 2・3 類に 2 型、第 4・5 類に 1 型がみられる。同様に漢語にも、第 3 類に 2 型、第 4 類に 1 型がみられ、和語とともに共通語化が起きている。

3 拍語では、第 7 類に、和語・漢語ともに 1 型がみられ、和語とともに共通語化が起きているが、第 4 類は、和語と漢語で振る舞いが異なる。和語の第 4 類では、26 語中 22 語に共通語型の 3 型がみられる (総語数に対する 3 型の出現率が 85%) のに対して、漢語第 4 類では、3 型が 14 語中わずか「愛想」の 1 語 (出現率 7%) のみである。松山市では、語末核型が少なく、3 拍第 4 類 (和語) の共通語化が、伝統的な H1 型から非共通語型の 2 型を挟んで共通語の 3 型へという独特の変化を起こしている (秋山 2017) ことから、共通語の 3 型に変化する前の中間段階として、単語単独で同じ型の 0 型をとったということも考えられなくはない。しかし、「愛想」を除く 13 語のうち、8 語が 0 型で、中間段階の型が和語と違う。また、漢語の 3 拍語に、第 4 類以外の語にも語末核型の 3 型が数語ほどしかみられない。2 拍語には多くみられる語末核型が 3 拍語にほとんどみられないのは不審である。漢語、とくに 3 拍第 4 類に語末核語がみられない原因については、複合語規則が関与している可能性が考えられる。現時点で断言はできないが、漢字 1 字で表す語が多い和語に対して、漢語では漢字 2 字あるいは 3 字で表すため、複合語としての意識が働いていた可能性がある。この点については、今後さらに詳細な調査をおこない、明らかにしたい。いずれにせよ、漢語の 3 拍第 4 類を、諸方言間の対応を示すものとして扱うことには問題がある。

## 6. おわりに

以上より、漢語類別語彙について、2拍第2・5類、3拍第2・5類を欠くこと、また3拍第4類が和語と異なる振る舞いをみせていることなどから、諸方言間（世代間）の対応を示すものとして使用するには問題があることが明らかになった。今後は、今回認定した語について、他地域・他世代のデータを広く収集し、再確認するとともに、今回データ不足から認定できなかった語についてもとりあげ、漢語類別語彙の妥当性をさらに検証したい。

## 附記

本研究は、JSPS 科研費 17K02733 の助成を受けたものである。

## 参考文献

- 秋永一枝・上野和昭・坂本清恵・佐藤栄作・鈴木豊編(1998)『日本語アクセント史総合資料 研究篇』東京：東京堂出版
- 秋山英治(2017)『愛媛県東中予方言のアクセントと共通語のアクセント-日本語史再建のために-』東京：おうふう
- 奥村三雄(1955)「東西アクセント分離の時期-外来語のアクセント-」『国語国文』24:12,34-44.
- 奥村三雄(1961)「漢語のアクセント」『国語国文』30:1,1-16.
- 奥村三雄(1963)「漢語のアクセント-アクセントから語彙論へ-」『国語学』55,36-53.
- 奥村三雄(1964)「漢語アクセントの一性格」『国語国文』33:2,48-68.
- 奥村三雄(1974)「諸方言アクセント分派の時期-漢語アクセントの研究-」『方言学研究叢書 3』,1-38.
- 奥村三雄(1981)『平曲譜本の研究』東京：桜楓社
- 奥村三雄(1990)『方言国語史研究』東京：東京堂出版
- 金田一春彦(1980)「味噌よりは新しく茶よりは古い-アクセントから見た日本祖語と字音語-」『言語』9:4,88-98.
- 金田一春彦監修・秋永一枝編(2014)『新明解日本語アクセント辞典 第2版 CD付き』東京：三省堂
- 中井幸比古(1997a)『高知市方言アクセント小辞典-方言アクセント小辞典(1)-』(科研報告書) (中井幸比古(2002)に再録)
- 中井幸比古(1997b)「讃岐式アクセントと中央式アクセントの対応について」『島田治還暦記念論文集一言葉と文化-』,89-111. (中井幸比古(2002)に再録)
- 中井幸比古(1998)『香川県方言アクセント小辞典-方言アクセント小辞典(2)-』(科研報告書) (中井幸比古(2002)に再録)
- 中井幸比古(1999)『徳島市方言アクセント小辞典-方言アクセント小辞典(3)-』(科研報告書) (中井幸比古(2002)に再録)
- 中井幸比古(2002)『京阪系アクセント辞典』東京：勉誠出版
- 平山輝男編(1960)『全国アクセント辞典』東京：東京堂出版